

平成17年3月31日

各 位

会 社 名 井 関 農 機 株 式 会 社
代 表 者 名 取 締 役 社 長 中 野 弘 之
コ ー ド 番 号 6 3 1 0
上 場 取 引 所 東 証 第 1 部、大 証 第 1 部
問 合 せ 先 取 締 役 其 田 一 美
(TEL.03-5604-7710)

日本政策投資銀行「環境配慮型経営促進事業」 融資制度適用のお知らせ

㊦セキグループは、このたび日本政策投資銀行の融資制度「環境配慮型経営促進事業」の対象として選定され、優遇金利での融資を受けましたのでお知らせ致します。農業機械業界としては制度適用第1号です。

「環境配慮型経営促進事業」とは、日本政策投資銀行が開発したスクリーニングシステム（格付けシステム）により、企業の環境経営度を評点化して優れた企業を選定し、得点に応じて3段階の適用金利を設定するという、「環境格付け」の専門手法を導入した世界で初めての融資制度です。

㊦セキグループは、創業以来農業とともに歩んでまいりました。そして、「農業と農業機械を基軸」とした経営理念の基、自然・社会・企業の調和を図った環境保全活動を推進しております。

具体的には、当社の農業機械は、ライフサイクルアセスメントへの取り組みとして環境適合設計評価制度を導入し、使用素材比率の見直しや、製品使用時の環境適合設計、リサイクルを推進するための分解性の向上など、製品ライフサイクルを通じた環境負荷低減を推進しております。

物流面では、梱包の環境負荷低減として、製品梱包で使用する木材や段ボール材を、繰り返し利用可能な鉄材に切り替えることで、2004年度にはおよそ3,000m³の木材使用量削減を達成しております。

また、環境コミュニケーションとして、地域の中小企業に対して環境経営に関する説明会の開催や、教育、資格取得の推進、地域社会が求める情報の積極的な開示など、地域社会への環境貢献活動を推進しております。

今回、このような環境へ配慮する取り組みが高く評価されましたが、㊦セキグループの農業機械を通じた、農業と自然との調和を保つために果たすべき役割は、非常に大きなものと認識しております。
今後、更なる環境保全活動を推し進め、農業および社会の発展に貢献してまいります。

以上